

登山ハイキング



愛川町観光マップ

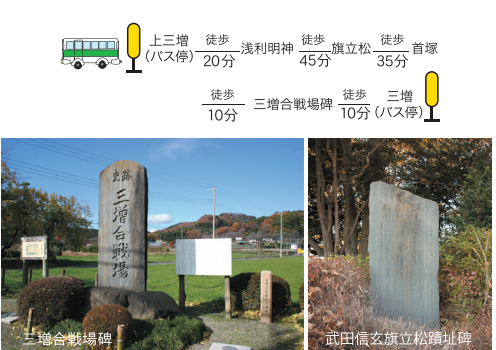
仏果山・高取山登山

宮ヶ瀬湖や丹沢山地を眺めながらの山歩きは、年間を通じて楽しめます。仏果山、高取山には展望台が設置されており、関東平野から丹沢山地まで360度見渡すことができます。



三増合戦史跡めぐり

甲斐の武田信玄と小田原の北条氏康の軍が戦った、名高い山岳戦「三増合戦（三増峠の戦い）」にゆかりのある史跡を巡るコースです。



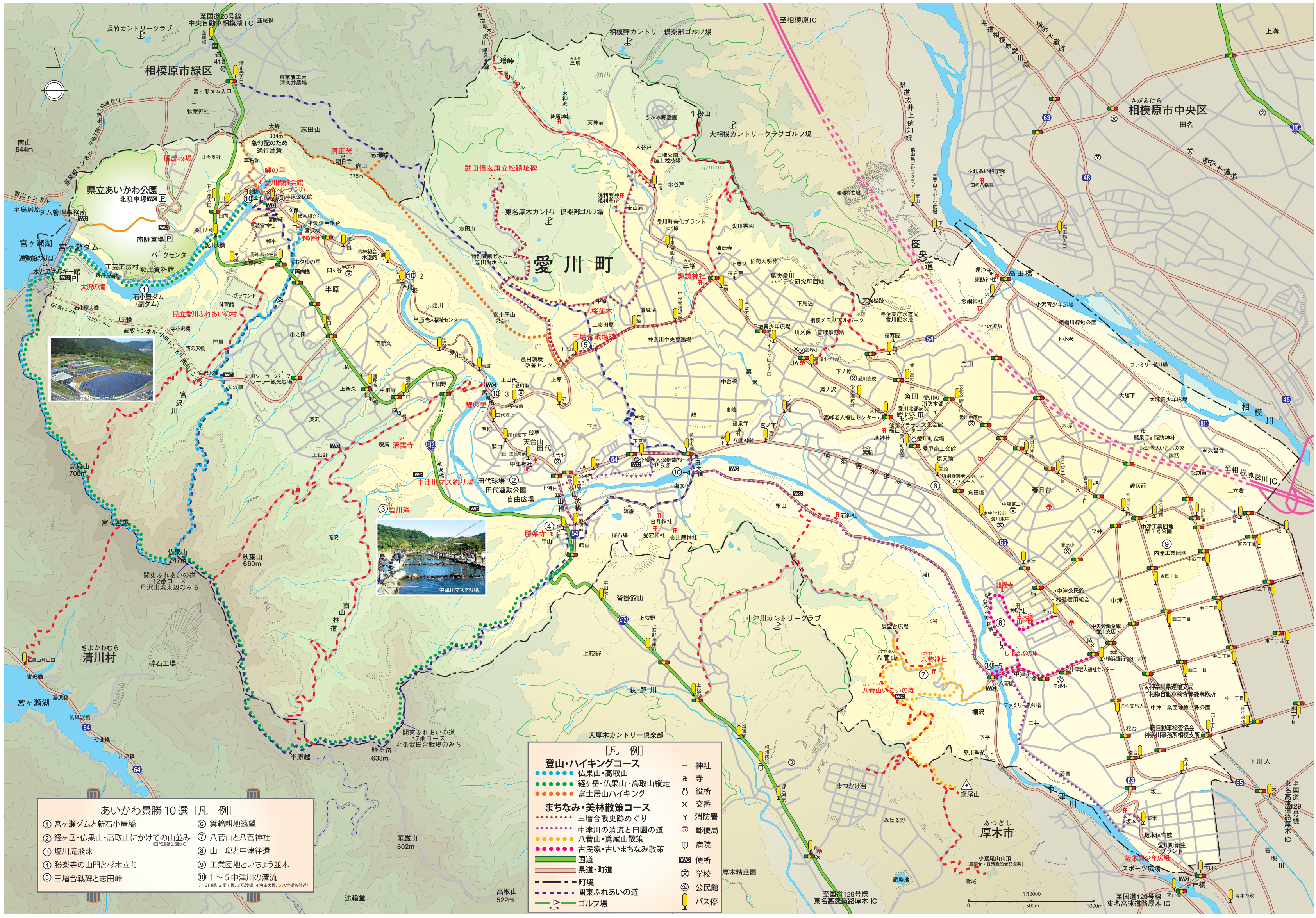
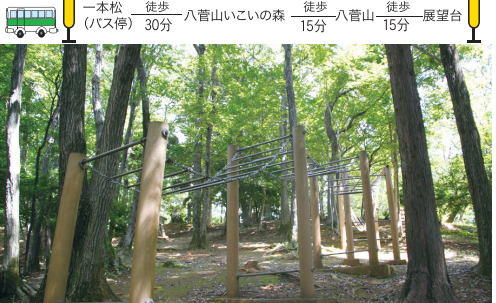
中津川の清流と田園

「新日本歩く道紀行100選、ふるさとの道」に選ばれた、愛川町の豊かな自然を感じながら、中津川の清流と田園風景を散策するコースです。



八菅山の美林散策

八菅山にある八管神社は、古くから山岳信仰の伝統を守り、今でも法要が行われています。300段の石段を登ると正面に神社、その裏は「八菅山いこいの森」でフィールドアスレチックや展望台があります。参道の「スタジイの林」は神奈川県の美林50選にも選ばれています。



あいかわ景勝10選

- ### ① 宮ヶ瀬ダムと新石小屋橋

新石小屋橋越しに仰ぎ見る宮ヶ瀬ダムは壮大です。橋上からは大沢の滝も見えます。
- ### ② 経ヶ岳・仏果山・高取山にかけた山並み

季節ごとに趣を変える山々の姿は、眺める人を飽きさせません。山頂から見る景色も絶景です。
- ### ③ 塩川滝飛沫

滝幅4m、落差15mの塩川滝。滝つぼ近くは夏でもひんやりとした冷気が漂っています。名勝であるとともに雨乞いの靈験あらたかな滝としても有名でした。
- ### ④ 勝楽寺の山門と杉木立ち

毎年4月17日の半僧坊大祭には多くの人で賑わう勝楽寺。その山門へ続く杉木立ちの下を人々が行き交います。
- ### ⑤ 三増合戦碑と志田峠

1569年、甲斐の武田軍と小田原の北条軍が激戦を繰り広げた三増合戦。碑は400年後の昭和44年に建立されました。
- ### ⑥ 箕輪耕地遠望

遙かに広がる田園風景。田んぼをまっすぐ走る道は水道みちと言われ、かつては、半原の水源地から横須賀まで水道水が送られていました。
- ### ⑦ 八菅山と八管神社

八菅山には自然公園が整備され、訪れる人々の安らぎの場となっています。春の例祭で行われる火渡りは古くから伝わる伝統行事となっています。
- ### ⑧ 山十郎と中津往還

明治時代の豪農住居の姿を残す古民家山十郎。その周辺の治道には中津往還と言われる古い町並みが見られます。
- ### ⑨ 工業団地といちよう並木

整然と立ち並ぶ内陸工業団地を縦横に行き交ういちよう並木。戦時中は陸軍の中津飛行場として利用されていた歴史もあります。
- ### ⑩ 中津川の清流

町のほぼ中央を流れる中津川は、古くから半原地域の燃糸や稲作など、暮らしの営みを支えてきました。山々の合間を流れる川のせせらぎは、今も変わらず人々の心を癒します。

町の史跡など

山岳信仰

八菅山一帯は古くから修験道の聖地でした。日本武尊、役小角、行基などの来山が伝わっています。現在は修験道の一部がハイキングコースとして整備されています。



三増合戦場跡

永禄12年(1569年)10月、甲斐の武田信玄は総勢2万の兵を率いて北条氏康の小田原城を包囲攻撃しますが、攻略することはできず、帰路を三増峠にとりました。これを察知した氏康は幕下の将兵2万を三増に進出させます。10月6日、三増山地一帯の武田陣に対し北条軍は随所に出撃し、激戦となったと言われています。



横須賀水道みち

旧日本海軍が横須賀軍港や軍艦などの用水として、大正10年3月に「横須賀軍港水道半原系統」として完成してから76年にわたり横須賀市へ愛川町の水を送り続けました。(平成19年4月に取水を休止)。町内には往時を偲ぶトンネルや送水管などが点在し、町域中央にはほぼ一直線の道路「水道みち」があります。



一等三角点「髯尾山」

三角点とは、あらゆる測量の基準として地図作成等に利用されるもので、その中でも日本最古の三角点の一つとして、地図づくりや近代測量の進展に大変重要な役割を果たしたものがこの一等三角点「髯尾山」です。

